



米国控訴裁判所・最高裁判所に訊く！ 米国に正義は有るのか？

GAHT（ガート）は米国加州（カリフォルニア州）グレンデール市に設置された像の撤去を求めて連邦裁判所に訴えました。像の碑文には「日本軍が朝鮮人女性を性の奴隷した罪を認め、謝罪と賠償しろ」と刻まれています。米国の連邦裁判所は一番・二審(控訴)ともGAHTの訴えを斥けました。我々は控訴裁判所に再審請求をし、またその結果により最高裁への上訴をして闘い続けます。

- ・日本を「悪逆な犯罪者」と貶めて、日米同盟「相互」安保条約は機能するのか？
- ・「朝鮮人を奴隷にした」と主張する他国の日本への非難を認めるのか？
- ・慰安婦とは？ 奴隷だったのか？ その根拠は？
- ・法廷でも何処でも日本人を「強姦魔」と罵る人達をそのままにしておいていいのか？

米国控訴裁判所・最高裁判所に訴えて問おうではないか！

裁判費用 ご支援のお願い

銀行振込み等による寄付方法

■銀行振込による資金の提供

銀行名: 三菱東京UFJ銀行
ミツピントウキョウユウエフジェイギンコウ
支店名: 藤沢支店 (支店番号257)
口座番号: 0421906 普通預金口座
口座名: 歴史の真実の会
(レキシノシンジツノカイ)

<ゆうちょ銀行>

銀行名: ゆうちょ銀行
振込口座名: 歴史の真実の会
(レキシノシンジツノカイ)
振込口座番号: 00180-0-292163

■クレジットカードによる資金

クレジットカードの利用をご希望の皆様は、
ウェブサイトから直接決済が可能です。
URL: <http://www.gahjp.org>

* 領収書は、お振込の書類を以て
代用させていただきます。
別途領収書をご希望の方は
「info@gahtusa.org」
までメールにて連絡ください。

【主催 / 問い合わせ】

歴史の真実を求める世界連合会(GAHT) <http://gahtjp.org/>

E-メール: info@gahtusa.org 電話: 03-5403-3512 山本優美子 細谷 清

「俺は東条嫌い。差別して何が悪い」

米慰安婦像訴訟 判事が発言

米カリフォルニア州グレンデール市に設置された慰安婦像の撤去を求めた訴訟で、近く米連邦最高裁に上訴する方針を固めた原告の「歴史の真実を求める世界連合会(GAHT)」の目良浩一代表は26日、産経新聞のインタビューに応じた。これまでの法廷では複数の米国人判事から「私は勝つ見込みがあるから、闘います。」と発言している。

産経新聞 関連記事 平成二十八年八月二十七日

米国の判事はこの様に反日勢力の歴史観に洗脳されています。だからGAHTは「蟻螂の斧」と言われようが、勝つ見込みがあるから、闘います。

裁判を通して理解させ、説得しましょう

州でも訴訟をやっているが、判事の発言に啞然とさせられた。2審のホール・ターナー判事は「俺は東条が嫌いだ。他の米国人も大抵嫌いだ。そういう人を差別して何が悪い？」と発言した。また、1審の判決文は「旧日本軍が女性の人權を侵害したことは明白な事実」と認定し、擁護する人はけしからん、という文章で始まっている。

さらに、連邦裁2審の判事は中韓両国系の反日団体の参考意見を受領したが、私たちの参考意見提出は認めなかった。

最高裁まで争うのは、旧日本軍、日本政府、日本国民が残忍でいろいろな罪を犯したと確定されれば、汚名が数世紀にわたって続くからだ。今の日本人が頑張らないといけない。最高裁に書類を提出するため約700万円かかり、却下されなければ、さらに2千万、3千万円が必要になる。支援をお願いします。

◇ 問い合わせはGAHTまで。ホームページは<http://s://gahtjp.org/>